

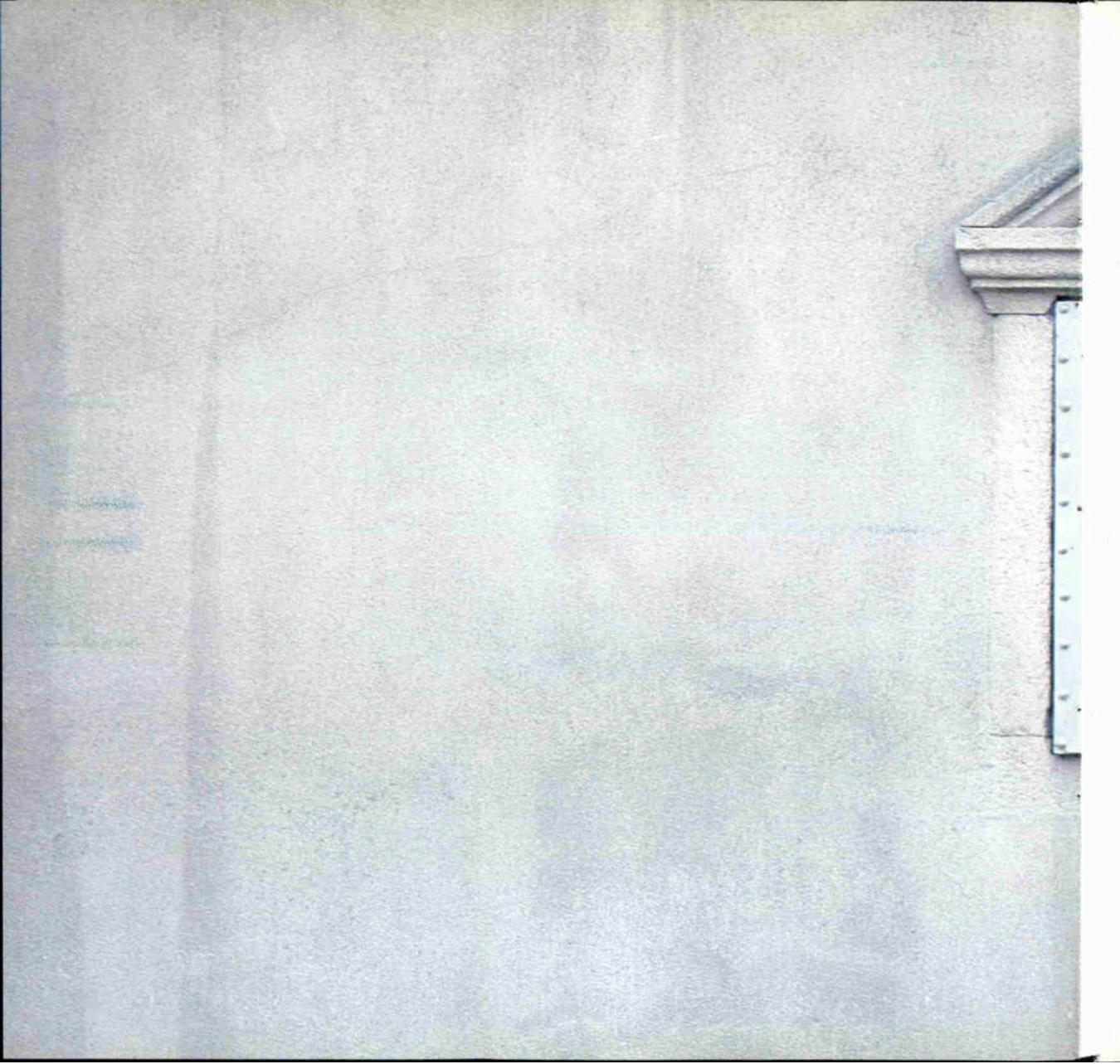
神戸のディテール

Detail of KOBE 〈61〉

石阪 春生

写真 / 杉尾友士郎





SUMMER COLLECTION '78

ひとときわ光る紳士のために



紳士服飾 西川

本店・神戸トアロード 番3911433
本館店中の朝日新聞ビル 朝日アーケード 番062220788

e.j. jacobson
et dorothee bis



あのドロテビスが サノヘに
カラフルで楽しくて夢も希望も
すべて織りこんだような服で知
られるドロテビスが本店に揃い
ます。お立ち寄りください。



ヌーベル
サノヘ
(078) 321-1710

Sanohe

神戸元町本店 (078) 331-4707

クレージュ プティック
サノヘ
(078) 331-1952

GIORGIO ARMANI

イタリアのジョルジョアルマニがこの秋サノヘに登場します。アバンギャルドな感覚をエレガンスな雰
囲気で表現したジャケット・ブラウス・ボトム類など秋のニューコレクションをご期待ください。

美しい装い ゆとりの、時



ファッションと
宝飾のブティック

ブレンチェ
O-MURA

KOBE/三宮さんプラザ2F

tel 391-3796

三宮で生まれて三宮で育って60年
時計 / 宝石 / 貴金属

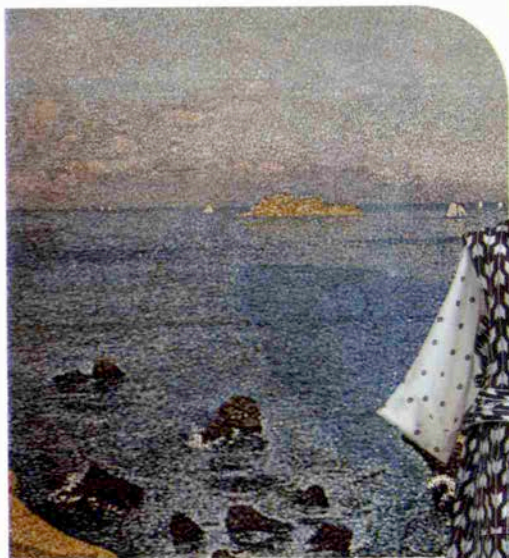
神戸 **三宮時計店**

センター街店 tel 331-3691
さんちか店 tel 391-4663
京町店 tel 321-1267

時計 / 宝石 / 貴金属

大阪 **おおむら**

三番街店 tel (06)372-0061
虹の街店 tel (06)213-6061

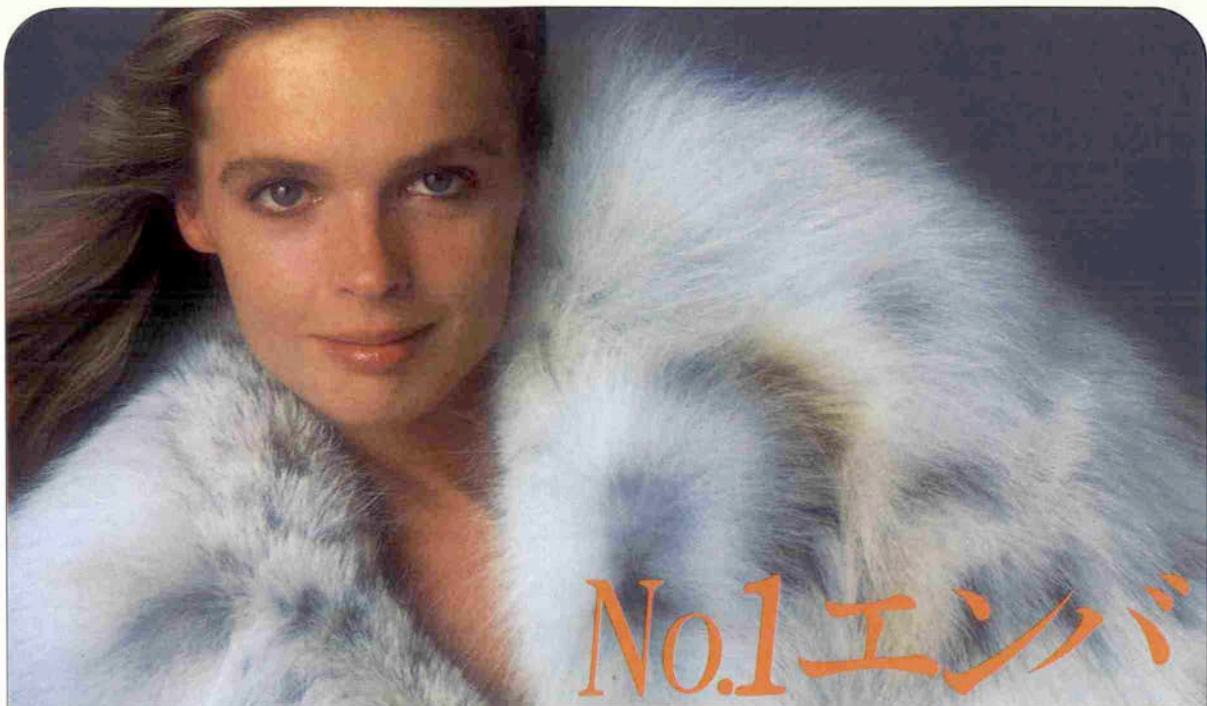


POËTIQUE

KOBE
まさ

この海を かもめのように。

- 神戸 さんブラザ店
さんちか店
- 大阪 千里阪急地下街店
阪急ファイブ
西武高槻店
泉北パンジョ店
- 宝塚 阪急ファミリーストア店
- 大津 西武大津SC店



No.1 エンバ

確かな品質で、信頼の輪を広げています。

デンマーク、ロンドン、フィンランド、世界各地の毛皮のオークション場から、厳しい目で選び直輸入する最高級品質のエンバの毛皮。この高級素材をエンバの伝統技術とセンスで入念に仕上げ、欧米と変わらないお値段でお届けしています。日本一多くの支店、日本一多くのファンをもち毛皮ブティックNo.1の名を不動のものにしています。すべての商品は鑑定書つき、もちろんアフターサービスも万全です。20回払いまであるローンもご利用ください。

社団法人・日本原毛協会会員
価値と価格を保証する直製造・直販売エンバ。



毛皮 **エンバ**®



神戸店 / 神戸市生田区下山手通り3の44
西田ビル1F ☎078(331)6214
芦屋店 / 芦屋市船戸町2の21国鉄芦屋
駅山側 ☎0797(31)3329



7月 目次 1978・No・207

これは神戸を愛する人々の雑誌です。
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の手帖です。



目次作品・山口牧生

表紙 / 小磯良平

セカンドカバー / 西村 功 / 僕の見たバリ(7)

- 9 神戸っ子78 / 願みつき / 鈴木一郎
- 13 ある集い / つばみ会
- 15 コウベスナップ
- 16 イメージの神戸(16) / 田中 薫
- 18 神戸のディテール(61) / 石阪春生 / カメラ・杉尾友士郎
- 29 私の意見 / 升田武雄
- 31 随想 / 武田則明 / 沼田かずゑ / 長島 隆
- 34 ある集いその足あと / つばみ会 / いち菊
- 36 私の交友録(2) / 足立巻一
- 38 神戸商船大学と神戸(5) / 南 正巳
- 40 インタビュー / 大森一樹(オレンジロード急行)監督に聞く
- 42 吉野芸術村レポート / 鶴本昭三
- 45 技術ジャーナル(131) / 諸岡博照
- 46 キャンペーン・国際文化都市神戸を考える(10)
ファッション市民大学の成果を踏まえ次の段階へ
嘉納正治 / 森本泰好 / 松岡賢蔵 / 河野忠博
- 52 経済ポケットジャーナル
- 54 第8回神戸まつり
- 56 対談 / 遊ぶのは何でもオモロイ神戸
・ 笑福亭松鶴 / 笑福亭仁鶴
- 61 神戸寄席御案内
- 64 座談会 / ガンガン歌いましょう
内藤国雄 / たかはしもう / 石阪春生 / 知念正文 / 田中美穂
- 68 神戸の夜・あなたも唄える店ガイド
- 70 話題のひろば/MUSE ★CLUB 船上パーティ/異人館倶楽部オープン
- 76 KOBE FASHION SPOT
- 82 アンド&神戸 / 神戸まつりの美女たち
- 86 NEUE MODE MARCHEN (7) / 篠原順子
- 113 神戸の催し物ご案内(7月)
- 114 ノコの華麗なる挑戦(15) / 剣道入門 / 小山乃里子
- 118 動物園飼育日記(143) / 亀井一成
- 123 神戸の集いから
- 124 座談会 / 今や第三の創造期
久山康 / 北尾信一 / 田村厚 / 藤田久司
- 126 神戸を福祉の町に(56) / 橋本 明
- 128 ファッションレポート / 松谷富士男
- 133 KFS ニュース
- 134 かわいそうなアリス(19) / 岡田 淳
- 136 私の映画手帖(7) / 淀川長治
- 138 女体百景(72) / 細川 薫
- 140 びっといん
- 143 神戸百店会だより
- 144 ポケットジャーナル
- 148 連載小説 妮捨て(7) (第2回神戸文学賞受賞作品)
奥野忠昭 / え・犬童 徹
- 154 連載小説 生活(7) (第2回神戸文学賞受賞作品)
吉峰正人 / え・榎 忠
- 159 トーク&トーク・トラベルコーナー
- 174 アルファベットアベニュー「P」 / 新井 満・石阪春生
- 176 海船港 / ヘビーカーキャリア「オレン・デニス号」
カメラ・米田定蔵 / 藤原保之 / 橋本英男 / 刃金和夫 / 速水 享

あなたを美しくする
エステティック・サロン
ビューティードック
from message

●日本人で初の
「国際美容賞」に輝やく……

ケイラク美容



しなやかなボディで過したい夏。
ビューティードック神戸店のエステティ
シヤン野呂ゆかりさんは「東洋医学
から生れたケイラク美容が、ニキビ

やしミなどの肌のトラブル、体重減
量にめざましい効果をあげています
ので、今迄の美容法で解決できな
かった方はぜひお出かけ下さい」と語る

●理学美容研究所 ●川崎 亨二 / 月乃 桂子

Beauty Dock

神戸店 / 灘区宮本通り 2-8-1
大阪店 / 南区長堀橋筋 2-1-9
松山店 / 松山市湊町 4 の 3 の 16
東京店 / 港区西麻布 3-1-1-9

☎078 (231) 5731 (代)
☎06 (211) 2077
☎899 (33) 4103
☎03 (404) 2439

美しさは
自らのうちにあり
自らが創るもの

月乃 桂子

1976年、欧米

各国のエス

テティシヤ

ン (美容専

門家) によっ

て組織運営されて

いるCIDESCO (シデスコ)の第31回大
会がウィーンで開催され、世界で最も
すぐれたエステティシヤンに贈られ
る「国際美容賞」を「ケイラク美容法」
によって受賞するという日本人で初の
快挙を成し遂げた。

昭和31年、理学美容研究所、川崎 亨
二氏に師事。美しい女性をつくるのが
私の仕事と日本各地を飛び廻って活躍。
理学美容研究会副会長。

★PLAY BOOKS

青春出版刊社

奇跡をもたらす

「経絡(ケイラク)美容法」

月乃桂子著 ¥590

これが一冊あれば手近
できいになります。

●愛読者サービス

5冊を連呈お申込下さい。

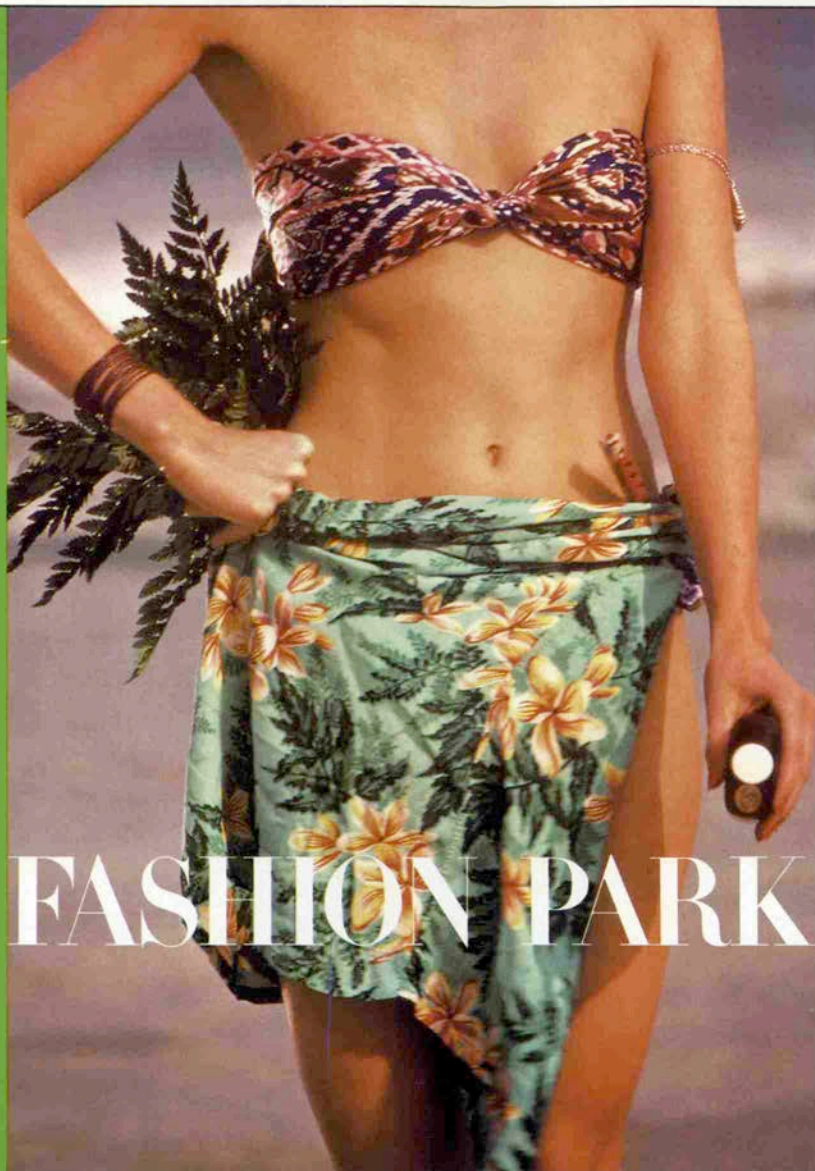


★ビューティ・メニュー

- 美容検査及び、カルテ作成 ●整肌美顔コース
- 整体全身美容コース ●ケイラク美容 ●リ
ビングビューティアドバイス ●保健美髪法、
- 除毛法・育毛法

システム ①フジックメンバー (1年会員) 入会
金1万円 ②エスチメンバー (永会員) 3万円
③ビジター / メンバーの2割増
神戸っ子をお持ちの方特別優待可。

さて。今夜のディナーには、何を着ようか。



FASHION PARK

トータルコーディネートファッション

●LIZA SALON

アクセサリ内外雑貨

●ルイ・ミッシェル

ジーンズショップ

●AOYAMA EIKO

COLLEGE SHOP

●CABIN

バリ・ナウファッション

●フランス・アンドルヴィ

バリ・ナウファッション

●ジョージ・レッシュ

東京銀座・婦人靴

●ダイアナ

舶来靴専門店

●Pia

ヤング&アダルトファッション

●ルベール

ヤングアダルトファッション

●ランブ

ファッション・バッグ・アクセサリ

●美呂

原宿・婦人服

●CAN

銀座・婦人服

●ゲルラン

婦人服飾

●東京屋

新宿・レディスファッション

●高野

おしゃれな靴の店

●BON フカヤ

コンテンポラリーファッション

●ザ・コレクション

東京ギンザ・レディスファッション

●三愛

神戸・三宮

さんプラザ・センタープラザ

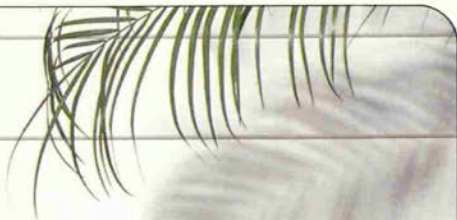
3F



「大丸」のテーマ
「いっしょに宣言!!」

神戸もとまち
大丸

電話 (078) 331-8121



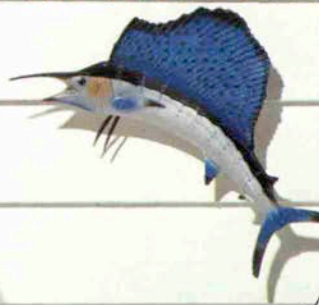
泳ぐ水着が帰ってきた。

スポーツとしての「泳ぎ」を考えた水着が、
ことし、にわかにクローズアップ。
そのシンプルで大胆なシルエットは、
はっと驚くほど新鮮です。

●ラズレレ・ワンピース

(ナイロン85%・ポリウレタン15%) 9,000円

〈6階:水着売場〉



☆私の意見

ギツクリ腰と

甘ったれ

升田 武雄

△ラジオ関西社長▽



放送会社の社長なら文化人だろうと思うのは早計だ。例外ということもあるし、常識通りにいかないところにこの世の面白さがあるともいえるだろう。

妙なことをいうが、例のマネキン人形、あれは一体どこの国の女の顔なのか。日本人じゃなし、米、欧とも違う。中には色の黒いものもあるが、顔は黒人女ではない。しかも例外なく口をあけた阿呆ヅラで、なんとも気味の悪い国籍不明の顔という外はない。

話かわって「日本人は敗戦と同時に贅抜けとなり、米軍占領とともに骨抜きになった」という批判がある。いくらなんでも骨抜きはひど過ぎやしないか。腰が抜けたという程度がいいところではないかと私は思う。

もともと我が民族は生来骨格がひ弱で、ちよつとしたショックですぐ腰が抜ける習性があった。つまり、精神的ギツクリ腰の体質なんだというのが私の持論である。

だから腰が据わらない。据わらないから揺れる。右だろが左だろが、何かに寄つて掛つていないと倒れそうになる。「一辺倒」などという單眼的思考が生まれるゆえんだ。

もう一つ、独りで立っていると不安でたまらない甘ったれだ。そこでとにかく手近かな集団の中へとびこんで前の奴のお尻をつかみ、漸く安心して歩きます。その集団が一体どこへ行こうとしているのかは関係ない。なるほど気楽ではあろう。自己判断も主体性も一切要らないんだから。

これからの日本人は否応なく国際化の方向を辿らねばなるまいが、さて、主体性欠落の人間が国際人に変身しようとする、どういうことになるんだろうか。洒落れた服を着てサングラスをかけ、ペラペラッとやりさえすればそれで国際人の出来上り、といった安直なものではないまい。民族の「こころ」を失くした無国籍者が、果して国際社会に通用するものであろうか、まことに心もとない話だ。私がマネキンの顔に拘泥するのも、そんな心配をするからなのである。

心の通う店創り

KOBE
NIKKEN



店舗装備のプロフェッショナル

(株)神戸日建

本社 神戸市萐合区御幸通3丁目2-20
〒651 ☎ (078) 251-3525 (代)
東京 東京都中央区日本橋3丁目2-17
営業所 ☎ (03) 278-1369



COFFEE HOUSE「宴美の園」萐合区日暮通3丁目

随想



カット／沼田かず系

ガララ・テーゼ の集合住宅

武田 則明

△建築家▽



ガララ・テーゼは、ミラノの都心から自動車で三十分ほどの場所にあります。このニュータウンの周囲の牧草地で木陰の気持の良さそうな場所に日曜日のせいでしょうかテントを張って野外生活を楽しんだり、大人も子供も盛んにサッカーをやっていました。

このガララ・テーゼのほぼ中央にカルロ・アイモニーノの設計による粒子の粗い砂に茶色の塗料を

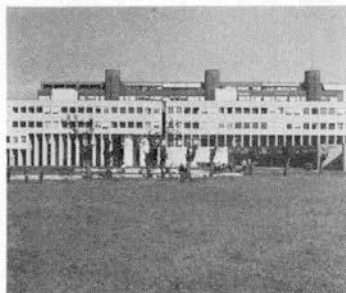
ほどこした約七階建のメゾネットタイプの住棟がそびえています。裏面と妻面に円柱状の階段とエレベーターの塔が自立し、屋上の住宅にはガラスブロックが嵌込まれこの住棟を山吹色のスロープと廊下が三階から四階ぐらいの空中をフライイングして、Y字状に配列された住棟を貫通しています。

数多くの住戸の種類を明解に組合せた、みごとな複雑さと大胆な色彩が調和し、あるポリウム感を創り出しています。これは日本のマンションや公団住宅のプランを考えると、よくぞこの複雑な計画をまとめることができたものと、改めてこの建築家の偉大さを認識したわけです。ところがこのY字状の住棟配置の一角に、アルド・ロッシーがアイモニーノの平面とは対照的な住棟を配置したのだから楽しくなってきました。アル

ド・ロッシーの設計した建物は白一色で、単純な四角い窓が事務所ビルのように規則正しく並び、四ないし五階建の長さが三百米ぐらいある恐しく細長い建築。一、二階が壁柱で約二米ピッチに建っている。ピロティーになっていて、さながら百足のようでもあります。

ピロティーは周囲の牧草地より約六十センチぐらい低く何の仕上もない白一色である。柱が前にも後にも無限に続く鏡の部屋の中にいるような一種の恐怖感さえ引き起す単純さ、それは単色でモノトーンの世界だから宗教的ともいえる空間を造り出しています。

私達がこの建物の周りをうろろろ歩き回り、いささか疲れて建物の前の牧草地で座りこんでいるとロッシーの建築の住人が私達を部屋に招き入れてくれました。彼女は未婚の母親で決して豊かではないのですが、寝室まで見せてくれ



アルド・ロッシー設計の住棟

た上に昼食をご馳走してくれました。もちろんワイン付きです。そして彼女はアルド・ロッシを知っていて、もし彼に合ったら、この部屋の仕上が悪いと伝えてくれるって冗談をいっていました。

日本では古い建物だけが芸術の対象として語られていますが、文化国家といわれる国ではもっともっと新しい建築とその建築家達に関心を示す必要があります。何人の人が、自分の住む建物の建築家の名前を知っているでしょう。ただ機能上や性能上の話題ではなく。美しさや、文化的関心をもっと深めていかなければいけない。そうしなければ決して高い文化国家とはいえないでしょう。また何人の建築家が、文化的責任を負える設計をしているのだろうか。遠くイタリヤのミラノの郊外で考えたことです。

人形との 出会い

沼田 かずゑ

△洋画家・兵庫県国際親善使節団員▽

私にとって、生れてはじめて踏むアメリカの土、私は感激に胸を踊らせながらアメリカへの第一歩を踏みだした。四月三日は兵庫県とワシントン州の姉妹提携一五周年記念の共同宣言と調印式が行わ



祝賀レセプション（右から二番目が筆者）

れ、州の首都オリンピアは、朝から糸のような早春の雨が降り、街はそぼめれて冷たく光っていた。

その夜、オリンピックホテルで、両知事主催の祝賀レセプションである。州知事のレイさんは女の方で、始終にこやかに笑をたたえて私たちの一人一人に呼びかけ語りかけているような心おきない親しみを感じさせた。レイ知事は海洋生物学専攻の学者だそうである。

初めてのアメリカは、私をこの上なく喜ばせた。シアトル港湾の船上からの見学、シスコ名物のケイブルカー乗り、フィッシュマーケット、ワーフの蟹料理の美味しさ、ハリウッドの野外劇場、歴代スターの手型、足型など珍らしく見るもの聞くもの、すべてが感激だった。

自由行動の一日、デイズニールンドの近くに住んでいる知人のMさんの家を訪ねた。Mさんは至って元気で、忙しい時間をさいて、

気持よく私とつき合ってくれた。Mさんは私を人形館につれていってくれた。いるわいるわ、大ぜいの人形たちが互にひしめきあっている。私は思わず歓声をあげたピアノを弾いている子、ハーブを奏でる子、ジュモやシモンなどのフランス生れの人形から、世界中の人形が、世界中の言葉で話し合っている。まさしくここはメルヘンの世界である。

この人形館に収蔵されている人形は、すべて館主個人のコレクションで、約二万点の人形が収められているというのである。

私はここで、日本の雛人形や五月人形を見て驚いた。

これは太平洋戦争のとき、このあたりの人たちが、手持の日本人形を、皆焼き捨てたそうである。その無惨さを見るに堪えず館主が買い取って保存していたものであると、管理人は話してくれた。

この入館料は無料だが、心ある人は館内においてあるビンの中に、いくらかの心付けをおいていくそうである。私は日本の人形を愛してくれたことへの感謝の気持ちをこめて、二ドルをビンに入れて外に出た。

この人形館のすぐ近くに、もう一軒人形の家があるというので、Mさんにつれていってもらった。ここにもたくさんアメリカ人形

が並んでいて、それぞれ製作年代と作者名、値段を書いたカードが付けてあった。

私は、あれこれ物色した中から約二十年くらい前に作られたのを一体と、五十年くらいいたったものを二体とを買った。そして私は大事に大事にいたわりながら連れて帰った。そのうち、この子たちに良い名をつけてやろうと思ってい

パリ雑感

長島 隆

△神戸地下街株式会社専務△



前回の訪問では一フランが七十円だったのが、今回は五十円と強くなつて得をした気になったが、物価騰貴もあるだろうから正確にはよく分らない。初めてパリを訪れたのが七年前、万博の翌年、それから今回で四回めだが、行く度に街の様子が違ってゆく。道路上のエスカルゴが消えた、セルフサ

ービスの店がふえた、高層建築物が目につく、新しいアパートマンに建て変わってゆくetc。中でも変な建物だと思ったのはボンビドー博物館。石油コンビナートが古いパリの街なかに現れた感じ。前の広場でパントミムや蛇使いが人を集めて賑やかなのは楽しかった。

変わったといえばホテルのビデ。

七年前の宿はコンコルド広場に近いマドレーヌ・パラス。今回は少しぜい沢をしてプラザ・アテネ。以前のビデは、一見水の飲み口みたいな突起があつて、ここからお湯がでて、ここに対象物をあてがって洗浄する（のだそうだ）。これがダ円形の洗面器または便器のような形に変わった。これに一杯お湯をためて、お尻をズボンとお湯につけて洗うようになっていた。なんでも、以前のビデは例の突起からお湯ならぬ熱湯がふき出してパリジェンヌの仔猫ちゃんにヤケドをさせる事故が頻発したためこの形に変わった（のだそうだ）。

コンコルドからビガールへのメトロの車中で、無言の寸劇があつた。扉のそばでバシッと派手な平手打ちの音がした。殴った男は色白でポテツとした顔つきでマストロヤンニに近い感じ。殴られたのは髭の剃り跡も濃い色黒の目つきのギョロツとしたエイキム・タミ

ロフという感じ。殴った優さ男のマストロヤンニ君は、サツと素早く後方の扉へ移り憤然とした表情でギョロ眼のタミロフ君を睨みつけている。殴られたタミロフ君はこれまた憤然としてマストロヤンニ君を睨みつけている。何か罵しっているようだが、口をもぐもぐさせているだけで声には出さない。何かアツピールするように隣の婦人を振り返ったが、婦人は知らぬ顔。周りの人もみな知らぬ顔。扉と扉の前で五メートルほど離れた二人の睨み合いは続く。駅が近づいてスピードが落ちてきた。タミロフ君は扉のノブに手をかけて降りたらホームでマストロ君にとびかからん許りの表情で睨みつけている。電車が停まった、マストロ君はサツとホームへ、そして、出口へ。ほとんど同時にタミロフ君もサツとホームへ、そして、マストロ君に襲いかかると思いきや、何と反対方向の出口へ逃げるように、これ一体どうなつてんの。みなさんどう思う。「痴話げんかか違いまつか」と石阪画伯はいうのだが。グラン・パレでマチス展とセザンヌ展、ジュエ・ド・ボムの印象派、ゴブランの国立織物工場、シュンシソーのお城のデュパン夫人像etc。高尚な話に入ろうとすると紙数が尽きた。すみません。

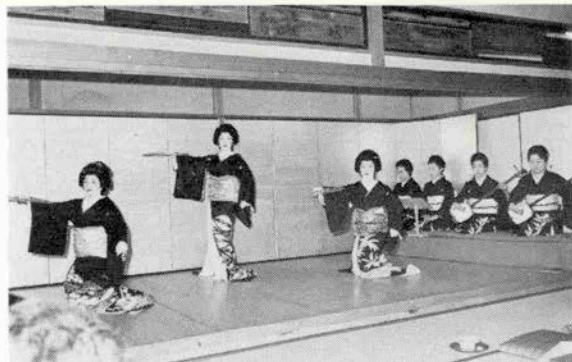
□ある集いその足あと

つぼみ会

いち菊／花隈芸妓▽

私達の勉強会、つぼみ会は、六年前に始まりました。私達の生活の中にお稽古事が占める割合というのは大きなもので、それがまた私達の生活の中心となっておりますが、日常生活の忙しさや、おつきあいに理由をつけて、時としてお稽古がおろそかになりがちなの

三人であてやかに「松竹梅」を（筆者は右端）



最後に勢揃いで手締め挨拶。

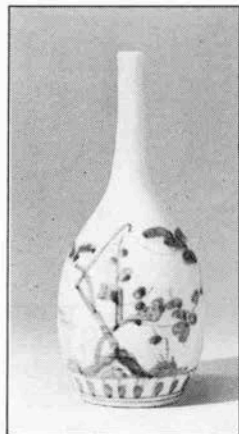


で、芸を磨くことへの努力不足があつてはいけないとのお姐さん方の御配慮もあり、また私達も一つの目標として、何か気分を引きしめるような事も大切ではないかと若手が集まって始めました。これがつぼみ会の初まりです。最近では年一回の勉強会ですが、お蔭をもちまして今年四月に十回目の発表会も無事すますことが出来ました。これも偏えにごひいき筋のお力添えのお蔭げと感謝致しております。

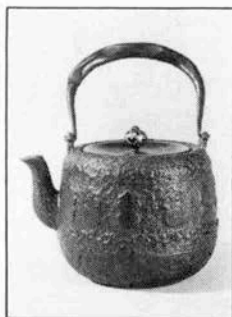
私達はまだ芸の上は開花をみませんつぼみです。もっともつとお教え頂きお師匠さん、お姐さん方に負けないように上手になり、つぼみをきれいな花に咲かせたいと思っております。残念なことには後に続く人がありませんのでどうしても私達がこの花隈を背おって立つて行かねばと、大きな大きな希望をもって精一杯頑張っております。

今までは、何もかもお師匠さん、お姐さん方に、お膳立てをしていただき、私達は踊っていただけたのですが、つぼみ会は自分達で全部やっています。最初何んでもないと思ったのが大まちがい、案内状一つにしても字を間違えたり、会計の方も帳簿が合わなかったりできりがありません。あちらで叱られ、こちらで謝り、しまいには全員ヒステリー、泣いたことも幾度か……これからも私達の努力を、お客様方に見て頂き、御批判を頂戴し、またこの上お力となつて頂きたく思っております。

刀剣 古美術



◀ 初期伊万里染付徳利
¥190,000円



▶ 南蛮人文様小鉸瓶
¥55,000円

鑑定 買入 刀剣 研磨 その他工作
一カ月仕上 是非ご用命下さい。
お支払いに便利なローンをご利用下さい。

刀 剣 元町美術
古美術

神戸市生田区元町通6丁目25番地

TEL 078-351-0081

オリエンタル レディスクラブ

会 員 募 集 中



年会費：お一人10,000円(ホテル利用券5,000円を含みます)

割 引：オリエンタルホテル、六甲オリエンタルホテル
での宿泊、飲食の際サービス料10%割引いたし
ます。その他いろいろの特典がございます。

特別催：随時、会員のための特別催しをいたします。

お問い合わせ

オリエンタルレディスクラブ事務局

神戸市生田区京町25 オリエンタルホテル内

☎(078)331-8111

『天秤』の連中 Ⅱ

足立 卷一

△詩 人△

ここに『天秤』の連中の顔が珍しくそろった写真がある。前列には岡本甚一・亜騎保・原口ちから・桑島玄二がしゃがんでいる。原口はいまは同人ではないけれど、第一次ともいふべき時期には、物心両面で『天秤』を支えてくれた人で、そのちも同人の主治医のような役をつとめてくれている。米田透・亜騎保の開腹手術も、原口の世話になった。わたしも風疹騒ぎ最中の孫の誕生で大変な面倒をかけた。仲間医者がいるということは、何といつてもありがたく、心丈夫である。それで、同人は何かというとき原口に電話をかける。

後列には、宮崎修二郎・静文夫・米田透・鳥巢郁美・津高和一・三浦照子・伊田耕三がならんでいる。わたしもグラスを持って立っている。

津高和一は、はじめ詩を書いていたが、戦争末期から洋画をかくようになり、独自の非具象的画風をつくりあげたことはよく知られているだろう。津高は毎年秋、西宮の自庭に近作をならべて知友に見せる。この写真は四年ほど前のその自庭展での撮影である。陽のかげるのが早い晩秋、会も果てようとするときに宮崎修二郎の知人のカメラマンに撮ってもらった。だから、空はもう真暗だ。

この写真にはいいない同人といえは、田部信ひとりである。田部は岬絃三の実弟にあたる。岬はわたしどもの最も古い友人のひとり、戦争中いわゆる神戸詩人事件に連坐した。そして敗戦を迎えると、むかしの仲間

を集めて同人詩誌を出そうと真っ先に言い出し、用紙の入手やら印刷のことやらに走り回った。が、その創刊号を見ることなく、岬は脳腫瘍のために急死した。白哲長身じつに気前のいいやつだった。

そんなわけで、わたしたちの戦後の同人雑誌は、岬絃三の追悼号から始まったのである。その誌名は『カタルシス』としたが、実質上はそれが『天秤』の創刊号であった。つづいて、田部には岬の身代わりのように同人に加わってもらった。ところが、田部もまた脊椎を病んで全身の自由を失い、療養生活は十年を越え、いまはかれをよく理解してくださる医師が経営する播州の病院で闘病をつづけている。しかも、詩と手記とを休むことなく書いていのである。そういう田部に對し、わたしをふくめて同人の精神的な助力は、充分とはいえない。それをつらいつづけて、同人雑誌の仲間といつても人間のエゴイズムを超えることはできない事実を考えさせられてしまう。所詮はわが身が一番可愛いのだ。

さて昨年十一月十九日の午後、静文夫詩集『彩眠帖』の出版記念会が「フエンデイ」というバーで催された。古典調の落ちついたバーであるが、そのママさんの特別の厚意で開店する時刻までの時間を貸してくれたのである。

静文夫は古い詩人である。戦前の神戸におけるモダンズム詩の一方の指導者であった。そうして戦後も堅実に詩を書き進め、古典的格調を高めた。『彩眠帖』はその



前列むかって右から桑島玄二、原口ちから、
至騎保、岡本甚一、後列右から伊田耕三、筆者
三浦照子、一人おいて津高和一、一人おいて
鳥巢郁美、米田透、板谷和雄、静文夫、宮崎
修二郎。(敬称略)

到達を示す詩集であった。

詩集が出たとき、これまで一度も出版記念会らしいものもやっていないので、この際せひやろうという意見は同人のあいだでささやかれていた。しかし、静文夫の好みを考えると、なかなかむずかしい。大勢集まってオダを上げるといふようなのは、静の最も忌み嫌うところであろう。どこか古美術のコレクターの別荘でも借り、コレクションを眺めてから静かに感想を交すというのが好ましかろう。休憩にはだれかがピアノを弾いてくれると一層よからう。しかし、現実においてはそういう舞台装置はまず不可能で、あげくは古典調のバーということになった次第である。

『天秤』の同人を中心に二十人が集まった。すべて静の気に入った人たちばかりで、案内を出す全員が出席するといった。ひとりの欠席者もないのは驚いた。

静文夫というのは、もちろん筆名である。同人の最年長者に属し、六十五歳はとくに越えている。それなのに禿げもせず白髪にもならず、髪は青年のように豊かで漆黑で、色白の顔の色艶はよく、とてもそんな年には見えない。

若いころからずっと貿易に従事し、いまはさる貿易商社の役員である。従って英語にも堪能だし身のこなしもスマートだし、バイヤーの接待で鍛えられたのか、酒席の場持ちもうまい。ある詩人仲間の集まりで炭坑節が出た途端、真っ先に踊りだしたことがあり、その古典的で高踏的詩風のゆえにその場の女流詩人を驚かせ、失望させたほどである。要するに世俗をもくぐり抜けたしぶとい老人である。

ところが、である。その出版記念の集まりでそれぞれスピーチがあり、やがて主賓静文夫のあいさつの段となったとき、主賓は絶句し、両手で顔をおおい、号泣しはじめたのである。その年になってなおこれほど声をしぼって感泣できる静文夫に、わたしはつくづく敬服したことであった。

寮歌・船歌・学生生活

南 正巳△神戸商船大学学長▽

校歌

(一) 茅渚の浦風静かにて

天地はあらたに蘇へり

(二) 昇る旭日の影清く

沖に出て行く真帆片帆

六甲の嶺かすみこめ

吾等に歓喜の叫びあり

磯馴松もみどり映え

吾等が醒むる時は来ぬ

以下略

寮歌

(一) 白波寄する東明の

世の黄塵をよそにして

(二) 岸打つ濤に聲合せ

紀伊の山脈遙かにて

黎明の鐘高鳴れば

島根の春の魁に

六甲山麗梅清く

聞け啓蒙の叫び聲

男児の歌を唱ふ時

生氣溢るる茅渚の海

海に文化の響あり

以下略

神戸高等商船学校開校記念誌に、以下のような記述がある。

「本校は厳密な意味では未だ校歌と寮歌を有していない。だが青年の生活には自ら詩があり歌がある。

これに準じたものは偶然生徒の間に生まれ、昭和二年以来いつとなく唱和され、準校歌準寮歌となつてゐる。勿

論歌詩も未だ熟せず、詠歎多く青年の感傷を出ないが、

而も、海国日本の意気、青年日本の感激、乃至は海波を

家とする海員の詠歎、必ずしも一顧を価しないものでも

ない。……後略。」

校歌、寮歌ともその後正式なものでは得られていない。

なお、校歌は、元川崎商船学校教諭渡辺義治氏、そして

寮歌は、神戸高等商船学校機関科二期生歳森寿高氏によ

り作詞され、またいずれも大正十一年に、永井幸次氏により作曲された。

川崎商船学校時代もそうであつたと聞き及んでいるが

高等商船学校時代の学生々活は、いま顧みると随分窮屈

なものであつた。当時の校則によると、「本校ノ教育目

的ハ健全ナル思想ト完全ナル常識トヲ涵養シ高等船舶職

員タルト同時ニ海軍予備員トシテ職務遂行ニ必要ナル学

術、技能ヲ修得セシムルニアリ」とある。これを受けて

席上課程では、教室における授業以外に、訓育に重点を

置いた軍事学、技業、武道および水泳等のいわゆる実課

にかなりの時間がさかれ、さらに寄宿舎での団体生活も

また非常に重要視されていた。

起床ラッパによる「総員起し」から就寝まで、精細な

規則により縛られた文字通りの二四時間教育であり、日

課の遂行は、教官の監督の下、ヘッドと呼ばれていた最

上級生によつて総て取り仕切られ、批判的態度はもちろ

ん許されず、また、少しでも手を抜けば、たちまち活を

入れられた。厳しい生活ではあつたが、その中には潤い

もまたあり、夕食後から自習時間までの約二時間の自由

時間には、寮内唯一の畳部屋で寝そべり、酒保でコーヒ

ーを飲んで雑談し、また時には、お茶と煎餅によるコン

パも行われた。このようなとき、よく歌われたのが寮歌

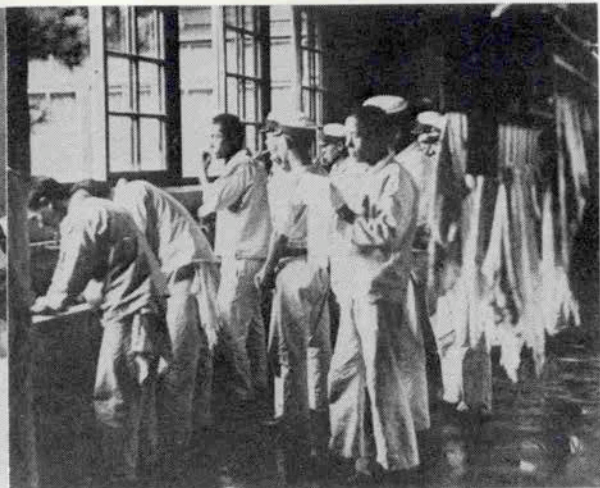
でありまた船歌である。

進徳丸船歌

作詞 不詳
作曲 海軍軍楽隊



寮生活・自由時間・いつも帽子を離さないのがおもしろい



寮生活・総員起しによって同時に洗面に集中する

(一) 仰ぐ六甲青雲今日ぞ 船装ひする吾等に靡く
 海洋征覇飛躍の門出 颯爽風呼ぶ壮美の極み
 総帆声あり己に勝てりと 進徳丸ぞ檣頭高く
 指すや羅針栄光の校旗

以下略

寮歌は、このほか十指にあまる船歌とともに、大学となった現在もお、学生の間に歌い継がれている。

ところで、当時の生活を思い起こしてみるとき、誠に申し訳ないことではあるが、教室で教官方からどのような講義をお聞かせ頂いたかについては、あまり記憶がない。それよりはむしろ、身体で憶えた実課、そして実課を指導された教官方の印象がより強く残っている。教練での朗々たる号令、「折敷け」の動作が印象に残るニッケネム「タコ」の日教官、いつも洗濯が良くきいた服を身につけ、眼をパチパチとまばたく癖があり、またズボン下すなわちパッチは特大をはくのが身体によく、冬ともなれば保温に最適ということで胸まであるパッチを愛用され、眼のパチパチとこのパッチをかけて、失礼ながら「パチ」の渾名を捧げた信号の日教官、さらには磊落で勇気凛々たる偉丈夫、左ギッチョで見事な結索の腕を披露され、右ききの学生をとまどわせた、通称「ワッチ」のT教官、……。当時の学生達にとって忘れ難い教官方であった。

神戸高等商船学校二五年の歴史は、日本がそして世界が、戦争という巨大な嵐の中に否応なしに引きずり込まれた激動の時代を背景にしていた。教育体系は、この間海を志し海外への雄飛を目指す若者を育成してきた初期の頃の船員教育本来の姿から、時局の変動につれて急速に戦時色を帯びるようになり、これとともに学生の意識もまた同じ方向へと変貌を遂げて行った。

しかしながら、六甲を仰ぎ、茅渚の海を眺め、海への憧れを抱いて寮歌、船歌を歌い、また、日頃接する教官に人間味を求める若者の本質は、昔も今も変わることはない。